

# エコアクション21

## 環境活動レポート

(活動期間2016年4月～2017年3月)



静岡リプロ株式会社

2017年5月31日作成

## 環境理念

静岡リプロ株式会社は、地球環境保全と事業運営の両立を目指し、環境負荷の低減に努めます。

## 環境方針

- ① 廃プラスチックの再生販売を積極的に進め、再資源化率向上の為、廃棄物処理の作業効率を高める。
- ② 事業活動において、産業廃棄物の収集・運搬を業としているところから、車両の燃料消費量が高い。地球温暖化原因の一つである二酸化炭素の排出量の削減に努め、地球温暖化防止の責務を果たす。
- ③ 水使用量の削減と、廃棄物排出量の削減に取り組む。
- ④ 環境関連法規及び条例等を遵守する。
- ⑤ 社員の環境教育に取り組む。

制定 2006年9月16日  
静岡リプロ株式会社  
代表取締役 立石 順二

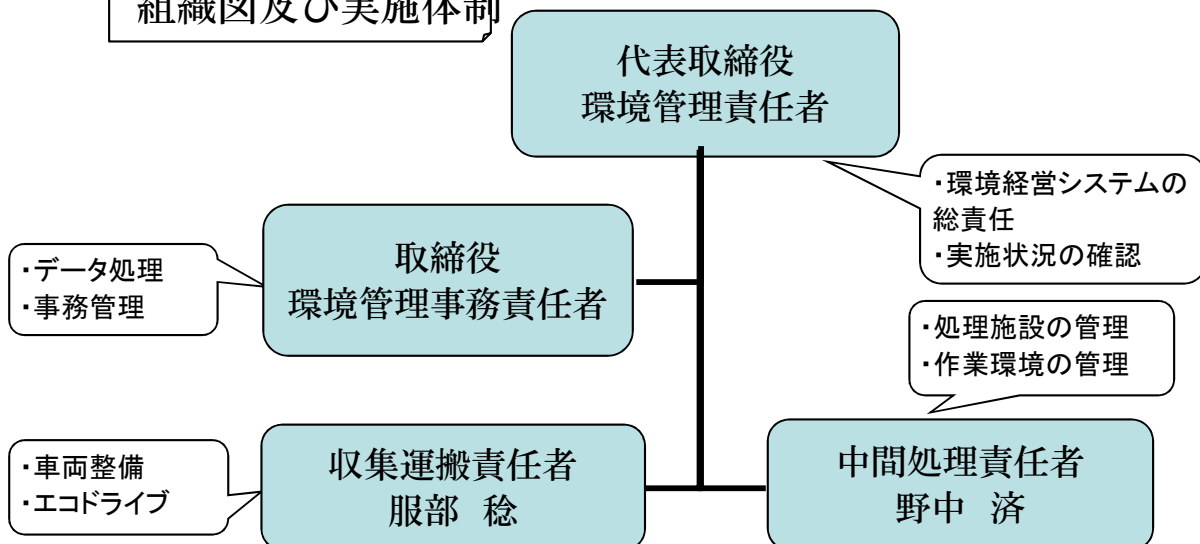
## 会社概要

事業所名	静岡リプロ株式会社
代表者氏名	代表取締役 立石 順二
設立	昭和35年5月18日
資本金	1000万円
事業内容	産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処分業 プラスチックの再生販売
本社工場	〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町 590番地の1 TEL:054-365-3377 FAX:054-364-1970 E-mail:repro@vc.tnc.ne.jp

## 事業規模

活動規模	2016年度
廃棄物収集運搬量	817 t
廃棄物処理量	204 t
従業員数	5人
床面積	541.56m <sup>2</sup>
売上高	2700万円

## 組織図及び実施体制



## 許可・施設等の概要

\* 静岡県産業廃棄物収集運搬業許可  
許可番号 2201027489号  
許可年月日 平成28年5月31日  
許可有効年月日 平成33年5月30日  
事業区分 収集・運搬  
廃棄物の種類 廃プラスチック類、木屑、金属屑  
ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑

\* 静岡市産業廃棄物処分業許可  
許可番号 06222027489  
許可年月日 平成28年5月31日  
許可有効年月日 平成33年5月30日  
事業区分 中間処分ー破碎、溶融固化、圧縮  
産業廃棄物の種類 廃プラスチック類

\* 運搬車両 (収集運搬車両)  
4 tトラック ウイング車 1台  
8 tトラック ウイング車 1台

### \* 処理施設

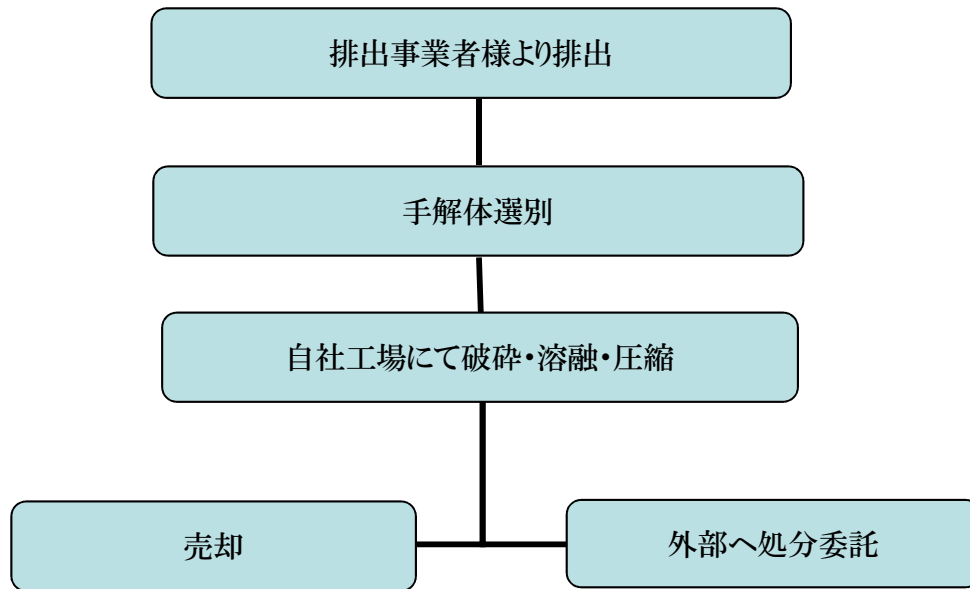
破碎施設	1.44 t
破碎施設	1.13 t
破碎施設	3.36 t
溶融固化施設	0.64 t
圧縮施設	1.88 t

廃プラスチック類 (日/8時間) の処理能力

\* 収集運搬、処理料金  
種類、量、距離等により御見積り。

\* 処理工程図

原材料(産業廃棄物又は有価物)  
廃プラスチック類



## 環境への負荷の状況

環境負荷項目(単位)		2014年度	2015年度	2016年度
①総エネルギー投入量	購入電力(MJ)	147686	123858	157506
	化石燃料(MJ)	268896	308910	295783
	新エネルギー(MJ)			
	その他(MJ)			
②総物質投入量	資源投入量(t)	61	55	68
	循環資源投入量(t)			
③水資源投入量	上水(m <sup>3</sup> )	125	58	40
	工業用水(m <sup>3</sup> )			
	地下水(m <sup>3</sup> )			
④温室効果ガス排出量	二酸化炭素(kg-CO <sub>2</sub> )	26072	27557	28410
⑤化学物質 排出量・移動量	大気への排出量(t)			
	公共用水域への排出(t)			
	土壌への排出(t)			
⑥受託産廃処理量	収集運搬量(t)	709	685	817
	中間処理量(t)	162	196	204
	うち再資源化等量(t)	136	120	161
	最終処分量(t)			
	中間処理後の産廃処分量(t)	162	196	204
	うち再資源化等量(t)	162	196	204
⑦廃棄物等総排出量	再使用(t)			
	再生利用(t)	136	120	161
	熱回収(t)			
	単純焼却(t)			
	その他(t)			
⑧廃棄物最終処分量	最終処分量(t)	0	0	0
⑨総排水量	公共用水域(m <sup>3</sup> )			
	下水道(m <sup>3</sup> )	125	58	40
	BOD(g)			

# 環境目標

基準年を2011年度として、目標を定めた。

リサイクル処理施設の更新に伴い、基準年の変更を検討していく。

## 短期目標

項目	単位	2011年度	2016年度
		実績 基準年	2011年比-5% 目標数値
二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	Kg-CO <sub>2</sub>	29,014	27,563
収集1t当たりの二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub> /収集1t	43.0	41
二酸化炭素の内訳	購入電力	kwh	18,621
	購入電力(処分1t当たり)	kwh/処分t	86.6
	ガソリン使用量	ℓ	3,003
	軽油使用量	ℓ	3,438
	軽油使用量(収集1t当たり)	ℓ/収集1t	5.1
	灯油	ℓ	1,354
中間処分を受託した廃棄物のリサイクル率	%	88.3	92.7
水使用量	m <sup>3</sup>	108	103
グリーン購入			購入に努める

## 中期目標

2018年度までに7%削減する。グリーン購入は購入に努めるとする。

中間処分を受託した廃棄物のリサイクル率は1%ずつ上昇するように努力する。

溶融施設の入替えにより、灯油の必要は無くなった。

項目	2011年度	2017年度	2018年度	2019年度	
	実績 (基準年)	2011年比-6% 目標数値	2011年比-7% 目標数値	2011年比-8% 目標数値	
二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	29,014	27,273	26,983	26,692	
収集1t当たりの二酸化炭素排出量	43.0	40	40	39	
二酸化炭素の内訳	購入電力(kwh)	18,621	17,503	17,317	17,131
	購入電力(処分1t当たり)	86.6	81	80	79
	ガソリン使用量(L)	3,003	2,823	2,792	2,762
	軽油使用量(L)	3,438	3,232	3,197	3,162
	軽油使用量(収集1t当たり)	5.1	4.7	4.7	4.6
中間処分を受託した廃棄物のリサイクル率	88.3	93.6	94.4	95.3	
水使用量(m <sup>3</sup> )	108	102	100	104	
グリーン購入		購入に努める	購入に努める	購入に努める	

# 環境目標に対する実績

2016年度(2016年4月～2017年3月)

項 目	単 位	2016年度 2011年比-5% 目標数値	2016年度 実績値	達成率(%)	達成の状況	
		二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	27,563	28,410	103
収集1t当たりの二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub> /収集1t	41.0	34.7	84.6	○	
二酸化炭素の内訳	購入電力	kwh	17,690	16,023	90.6	○
	購入電力(処分1t当たり)	kwh /処分	82.0	78.5	95.7	○
	ガソリン使用量	ℓ	2,853	3,447	120.8	×
	軽油使用量	ℓ	3,266	4,006	122.7	×
	軽油使用量(収集1t当たり)	ℓ/収集1t	4.8	4.9	102.1	△
	灯油	ℓ	1,286	640	49.8	○
中間処分を受託した廃棄物のリサイクル率(自社内におけるリサイクル率)	%	92.7	78.9	85.1	×	
水使用量	m <sup>3</sup>	103	40	38.8	○	
グリーン購入		購入に努める	エコカーの購入		○	

\* CO2排出係数 0.518kg-CO2



## 取組み結果と評価と次年度取組内容

### \* 結果の分析と評価

項目	分析と評価
二酸化炭素排出量	大変に達成度の高い結果であった。次年度も処理施設の整備を徹底するとともに、収集ルートを検討、エコドライブの実施を継続していきたい。
購入電力	使用総量、中間処分量1t当たりの両方で、目標数値を達成する事が出来た。これは、破碎機の刃の交換を早めに行なう事で、処理施設の効率的な稼働が出来たからであると考えられる。
ガソリン使用量	目標数値を達成出来なかった。アイドリングストップの徹底が出来なかった為であると考えられる。
軽油使用量	運搬業務が比較的多かった為、目標数値を若干達成出来なかったと考える。次年度も引き続きエコドライブを実施していく。
灯油使用量	発泡スチロールの溶融に使用していたが、電気式溶融機へ替えたので、今後は必要が無くなった。
中間処分を受託した廃棄物の再生率	課題であった、破碎施設の配置替えと、溶融施設の入替えをして、高効率の作業環境が整った。結果は次年度に現れてくると考えられる。
水使用量	洗濯回数を減らし、まとめ洗いにすることで大幅に水使用量を減らす事が出来た。今後も節水を心掛けていく。

### \* 取組み計画の実施状況

- 2016年04月08日 フォークリフトを、ガソリン式からバッテリー式
- 2016年05月24日 事務所内のエアコン洗浄
- 2016年06月17日 建物への影響を及ぼす木を撤去
- 2016年07月11日 工場にて防災訓練の実施
- 2016年08月19日 事務所内のエアコンフィルター洗浄
- 2016年09月05日 消火器目視点検
- 2016年09月13日 従業員教育
- 2016年10月21日 電気保安協会 年定期点検実施⇒問題なし
- 2016年10月27日 業者による消火器点検⇒11月4日消防署へ報告
- 2016年11月02日 事務所内のエアコン洗浄
- 2017年01月18日 処理施設の配置変更と入替えに伴う、住民説明会
- 2017年01月27日 工場内天井の照明をLEDへ交換
- 2017年02月16日 産廃処理施設設置等事前手続完了通知  
⇒破碎機の配置替え及び溶融機の新旧入替設置
- 2017年02月17日 従業員教育
- 2017年02月18日 エアコンフィルター洗浄
- 2017年03月16日 消火器の目視点検実施

### \* 問題の是正と予防措置

作業を一時中断する際には、確実にエンジン停止や機械停止をする事が課題である。そのために、従業員への声かけや教育にて、意識の向上を図りたい

## 環境活動の取組み計画

取組み項目	担当	内容 期間(2016年4月～2017年3月)												取組結果
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
機械類の最大効率運転	平岡				教育								教育	△
消灯管理の徹底	野中				教育								教育	○
エアコンの掃除	立石き	本体		フィルター		本体							フィルター	○
雨水を積極的に利用	立石き				教育								教育	○
不要な荷物を降ろす	服部				教育								教育	○
経済経路の走行に努める	服部				教育								教育	○
エンジンブレーキの積極使用	立石じ				教育								教育	○
タイヤの空気圧点検	立石じ				教育								教育	○
リサイクルの推進	立石じ				教育								教育	○
消火器の半年点検	立石き								点検				点検	○
緊急事態への準備	立石じ								訓練				教育	○

\* 低排出ガス車両の購入及びグリーン購入を検討する。

## 環境関連法規

### \* 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。  
(2017年5月確認)

法律・条例・規則	適用内容	確認
環境基本法	一般的な自主努力	○
循環型社会形成推進基本法	3 R への努力	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	○
グリーン購入法	環境物品の購入	○
消防法	火災の予防	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託契約の締結	○
	マニフェストの運用・管理・保管	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	○
	収集運搬及び処分業許可の更新・変更届出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置	○
	産業廃棄物処理の委託先の実地確認とその記録の保存	○
	不適正な処理がなされた場合の必要な措置の実施と市への報告	○

### \* 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、訴訟、利害関係者からの苦情、訴訟についてありませんでした。

## 代表者による全体の評価と見直し

総合的に見て、目標達成率の大変高い結果であったと評価する。

最も大きな取組み結果は、一番の課題であった、老朽化している設備の入替えが完了した事である。

また、溶融施設の変更に伴い、作業環境を見直した結果、破碎機の配置替えも同時に行う事とした。

ただ、市役所への産廃処理施設設置等事前手続が、申請から完了するまでに、今回は随分と期間がかかり、施設の変更の実施が遅くなった為、この実績は次年度に現れる事となる。

今後は、処理施設の変更に合わせて、再度目標基準等の見直しが必要であり、更に作業の効率化と製品管理を徹底して、リサイクル率の向上を図る事が重要である。その為には、より具体的な取組み計画が必要であると考えます。

平成29年6月

静岡リプロ株式会社

代表取締役 立石 順二